

2018年12月11日

報道関係各位

JNC株式会社
関西学院大学

関西学院大学畠山琢次教授との共同研究による有機EL材料の採用について

JNC株式会社（本社：東京都千代田区、社長：後藤 泰行）は、関西学院大学（兵庫県西宮市、学長：村田治）の畠山琢次教授との共同研究により新しい有機EL材料を開発し、このたび、大手ディスプレイメーカーのスマートフォンに採用されましたのでお知らせいたします。

共同開発した有機EL材料は、これまでに使用されてきた材料系とは全く異なる新しい構造を特徴とした青色発光材料です。新しい青色発光材料はホウ素原子を含むヘテロ環構造を主骨格とし、電圧をかけることによって発生する光の波長の幅が従来の材料に比べ狭いことを特徴としています。これにより、発光したエネルギーロスを抑えることが可能となり、低消費電力化を実現できます。

畠山琢次教授とJNC株式会社の共同研究は2011年から開始し、2016年には世界最高レベルの発光効率と色純度を持つ有機ELディスプレイ用青色発光材料を開発するなど、数多くの有機EL材料を生み出しています。また、新しいタイプの有機EL素子に適用できる材料の開発も進めており、今後も高効率・長寿命特性を有する製品を提供して、有機ELディスプレイの開発に貢献してまいります。

JNC株式会社はこの共同開発の成果として生み出した有機EL材料を熊本県の水俣製造所にて製造する計画です。

以上

【本件に関する問い合わせ先】

JNC株式会社 総務部（CSR・広報担当）	03-3243-6370
ディスプレイ材料事業部	03-3243-6050
学校法人関西学院広報室	0798-54-6017
関西学院大学理工学部教授 畠山琢次	079-565-8734

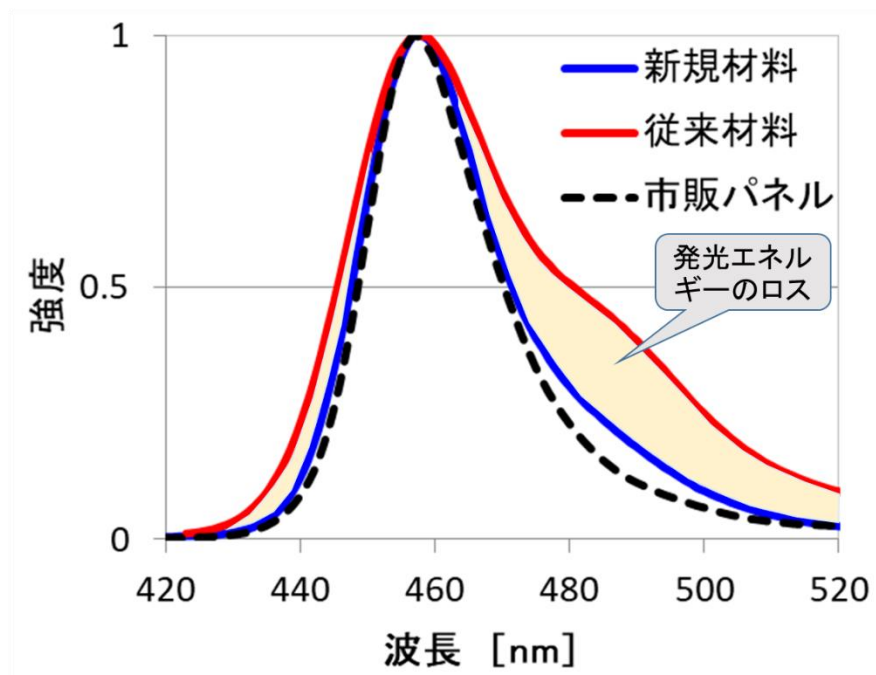


図1：発光スペクトル

※パネル製品と材料の発光スペクトルが重ならない部分は、エネルギーの損失となります。新規材料は重なり部分の割合が大きいことから、高効率な青色発光材料として機能することになります。